

赤十字講習マニュアル

— 日本赤十字社の講習を利用される方へ —

はじめに

平素より赤十字の各種事業推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この資料は、当支部が普及を進めております、

- ・ 赤十字 救急法
- ・ 赤十字 水上安全法
- ・ 赤十字 健康生活支援
- ・ 赤十字 幼児安全法
- ・ 防災教育事業（防災セミナー、防災スクール）
- ・ 国際人道法普及事業（国際人道法と人道危機に対する赤十字の対応等）

上記について、日本赤十字社が認定する資格を取得したい方、講習指導員の派遣を計画されている団体等のご担当者様のために、申請方法や経費負担の方法などをまとめたものです。

ご覧いただき、手続きの参考にしてください。

もくじ

1	このマニュアルについて	P. 1
2	申請の手順	P. 2
3	講習の概要	P. 6
	➤ 資格養成講習	P. 7
	➤ 短期講習	P.14
4	申請手順のまとめ（概略）	P.24

この講習は、皆様からお寄せいただいた活動資金によって開催しています。

活動資金への**ご協力**をお願いいたします。



1. このマニュアルについて

下記の6種類の講習について、必要な経費や申請方法などについて説明しています。

- ① 救急法講習
- ② 水上安全法講習
- ③ 健康生活支援講習
- ④ 幼児安全法講習
- ⑤ 防災講習（防災セミナー・防災スクール）
- ⑥ 国際人道法講習

上記①～⑥の講習には次の種類があります。

- 「資格養成講習」・・・ 日本赤十字社の認定資格を取得する講座です。
講義と実技および検定があります。
- 「短期講習」・・・ ご要望に応じて講習内容や時間設定を組み立てることができる講習です。



2. 申請の手順

講習の企画から申請、経費の精算まで一連の流れを説明します。

(1) 本申請の前に（事前協議）

はじめに、このマニュアルや当支部作成の「赤十字講習会のご案内」などをよくお読みになり指導員派遣を希望される講習を決定してください。

そして、派遣を希望される時期・会場（候補場所）・受講を予定されている人数（概数）がまとまりましたら、当支部担当あてご連絡ください。

連絡先

日本赤十字社島根県支部 事業推進課

〒690-0873 島根県松江市内中原町40

☎ 0852-21-4237（8時30分～17時 土・日・祝日除く）

fax 0852-31-2411

メール shinsei@shimane.jrc.or.jp

最初のご連絡は、開催予定日の遅くとも2ヶ月前まで、開催予定日が土曜、日曜、祝日の場合は、開催予定日から遡った直近の平日までにいただきますようお願いいたします。

また、派遣（希望）日時は、第2候補、第3候補など、ある程度余裕をもった状態でご相談いただきますようお願いいたします。

期日の切迫したご相談や派遣日時が固定されたご要望には対応が出来ない場合がありますのでご了承ください。

(2) 指導員派遣の条件

指導員派遣の可否については、派遣を希望される時期など申請内容に応じて個別に検討することになりますが、次の原則がありますのでご承知おきください。

《指導員派遣の原則条件》

- ア 講習会場（指導員派遣場所）は、島根県内であること。
- イ 受講者がおおむね20名以上であること。・・・ ご相談ください。
- ウ 本講習の開催が、申請団体の営利活動につながる場合は派遣をいたしません。

【具体例】

- ・ 後述する講習開催経費・講習教材費を超える額が受講者の負担すべき費用として設定され、徴収される場合。
- ・ 学校や研修・セミナーなどの募集要項等の広報に日本赤十字社の講習受講、または赤十字救急法救急員等の資格を取得できることを掲載するなどして受講者を募集しようとしている場合。
- ・ その他、日本赤十字社の基本原則に反する場合。

エ 派遣する指導員を指定した申請はお受けできません。

オ 講習資材（人形等の講習教材等）の搬送もしくは輸送費をご負担いただく場合があります。

カ 短期講習を大学、専門学校等のカリキュラムの一部として開催する場合は別途講師派遣料を申し受けます。

(3) 申請書の作成（提出）

事前協議の結果、指導員派遣可否について電話等により回答します。

（事前協議から回答までは数日かかる場合があります）

派遣可能な場合は、当支部ホームページより申請書類一式をダウンロードして、速やかに申請書類を作成してご提出ください。

(4) 派遣回答と詳細打ち合わせ

申請書を当支部で受け取ったあと、講習開催日のおおむね1～2週間前に、申請団体あてに派遣回答の文書をお送りしますので、派遣日時・場所・指導員・概算経費等をご確認ください。また、これに前後して講習会実施に向けた詳細な打ち合わせをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(5) 講習の開催にかかる経費について

講習会の開催に必要な経費は、

講習開催経費 ＋ 講習教材費（受講人数分） ＋ 輸送費

ア 講習開催経費

1回（度）の講習にかかる全体経費であり、指導員派遣等に伴う諸費用の一部を申請された団体にご負担いただくものです。

なお、下記の場合は、講習開催経費の一部または全部を免除します。

- ・町内会、自治会、町内会・自治会に属する団体^⑨ が主催団体となる講習
- ・青少年赤十字加盟校・赤十字奉仕団・有功会員からの依頼による講習
- ・その他支部長が特に必要と認める講習

⑨ 自主防災組織、婦人会、〇〇地区△△会等



イ 講習教材費

受講者一人あたりの経費であり、受講者に配付する教本等の教材代、消耗品費や講習資材の保守費用の一部負担金などです。

《講習教材費に含まれる経費》

- ・ 受講者に配付する教材代（小冊子・呼気吹込み用具）^②
- ・ その他講習で使用する資材の消耗品費の一部

② 配付する教材は、各講習区分で異なります。詳しくは各講習の解説ページをご覧ください。

なお、上記に含まれない教材が別途必要となる場合や会場使用料が必要な場合などは申請者側でご負担をお願いいたします。

講習開催経費、講習教材費の減免方法についての詳細は、別途お問い合わせください。

（６）名簿の事前提出

資格養成講習を開催される場合は、事前に受講者名簿を提出してください。

（７）経費の支払い方法

講習経費は、講習会終了後、実際に受講された人数と配付した教材数に基づき算出します。経費確定後、後日当支部より申請団体あてに請求書を発行しますので、当支部指定の口座にお振込みください。（振込手数料は利用者のご負担となります）

事故防止の観点から、講習会場における現金の取り扱いは一切いたしませんのでご了承ください。

また、講師への謝礼等の必要はございません。必要経費以外の費用は発生しませんが、災害時の救護・救援活動など赤十字の活動へのご寄付は承っております。

《講習経費（講習開催経費・講習教材費）振込先》

郵便振替 加入者名 日本赤十字社島根県支部
口座番号 01370-9-41130

3. 講習の概要

それぞれの講習内容・講習時間・経費などを解説します。ご要望内容に一番近い講習を選択していただく際の参考にしてください。

— 資格養成講習 —

救急法 基礎講習	・ ・ ・ ・ ・	P. 8
救急法 救急員養成講習	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
水上安全法 救助員養成講習 I	・ ・ ・ ・ ・	P.10
水上安全法 救助員養成講習 II	・ ・ ・ ・ ・	P.11
健康生活支援講習	・ ・ ・ ・ ・	P.12
支援員養成講習		
幼児安全法	・ ・ ・ ・ ・	P.13
支援員養成講習		

— 短期講習 —

救急法 一次救命処置コース	・ ・ ・ ・ ・	P.15
救急法 応急手当コース	・ ・ ・ ・ ・	P.16
水上安全法	・ ・ ・ ・ ・	P.17
健康生活支援講習	・ ・ ・ ・ ・	P.18
幼児安全法	・ ・ ・ ・ ・	P.19
防災セミナー	・ ・ ・ ・ ・	P.20
防災スクール	・ ・ ・ ・ ・	P.22
国際人道法普及セミナー	・ ・ ・ ・ ・	P.23

日本赤十字社が認定する資格を取得したい方へ

<資格養成講習>

救急法 基礎講習	P. 8
救急法 救急員養成講習	P. 9
水上安全法 救助員養成講習 I	P.10
水上安全法 救助員養成講習 II	P.11
健康生活支援講習 支援員養成講習	P.12
幼児安全法 支援員養成講習	P.13

救急法基礎講習

講習時間	4時間30分（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	満15歳以上
内 容	傷病者の観察の仕方および一次救命処置（心肺蘇生、AEDの使用方法、気道内異物除去）等救急法の基礎
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字ベーシックライフサポーター』の認定証を交付します。

このような方へ適しています

- ★ 成人の一次救命処置の基本を学びたい方
（乳幼児の心肺蘇生法は「幼児安全法」で学べます）
- ★ お仕事や日常生活で、心肺停止の傷病者に遭遇し対応する可能性のある方
- ★ 心肺蘇生やAEDの使用に関する資格認定が必要な方
（「救急法基礎講習」は厚生労働省の定める「一定の頻度で心肺停止者に遭遇し対応が求められる者のためのAED講習（一定頻度者向け講習）」の内容を含みます。）
- ★ 救急法救急員、水上安全法救助員Ⅰの資格取得を目指している方
（上記の講習を受講するには、赤十字ベーシックライフサポーターの認定が必要です）

受講費（受講者1名あたり） 1,500円
 ・救急法基礎講習教本 ・呼吸吹込み用具 ・保険料含む

※ 運動のできる服装で参加してください

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名／日につき 8, 000 円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

*原則として 1 日で実施、複数の日程で開催することは不可。

詳しくはP4 講習開催経費をご確認ください。

救急法救急員養成講習（ファーストエイドプロバイダー）

講習時間	14時間（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	満15歳以上 赤十字ベーシックライフサポーター認定者
内 容	急病の手当て ケガの手当て【止血、包帯、固定】 搬送および救護
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字救急法救急員』 （ファーストエイドプロバイダー）の認定証を交付します。

このような方へ適しています

- ★ 日常生活における事故防止や止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについて学びたい方
- ★ 救急法救急員の資格取得を目指している方
「救急法救急員」資格は、救急法を実践するための知識と技術を有していることを日本赤十字社が認定する資格です。

受講費（受講者1名あたり） 2,100円

・救急法講習教本 ・救急セット ・保険料含む

- ※ 救急法基礎講習教本を持参してください
- ※ 運動のできる服装で参加してください

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1名／日につき 8,000円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※原則として2日間で実施します。

詳しくはP4 講習開催経費 をご確認ください。

水上安全法 救助員養成講習Ⅰ

講習時間	14時間（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	満15歳以上で赤十字ベーシックライフサポーター認定者 <u>一定の泳力[㊟]</u> を有する者
内 容	水の事故防止 泳ぎの基本と自己保全 事故者の救助および応急手当
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字水上安全法救助員Ⅰ』の認定証を 交付します。

㊟ 一定の泳力

クロールおよび平泳ぎで各100m以上、クロールまたは平泳ぎで400m以上
横泳ぎで25m以上、立泳ぎで3分以上、潜行で15m以上、飛び込みで1m以上の高さ

このような方へ適しています

- ★ 水の事故防止、溺者への対応など、水辺での緊急事態に対応する方法を
学びたい方。
- ★ 水上安全法救助員Ⅰの資格取得を目指している方
「水上安全法救助員」資格は、水の事故防止や溺者救助に必要な知識と技術を有して
いることを日本赤十字社が認定する資格です。
プールや海水浴場の監視員の採用条件とされる場合もある資格です。
- ★ 将来、水上安全法救助員Ⅱの資格取得を目指している方

受講費（受講者1名あたり） 700円

・水上安全法講習教本 ・保険料含む

- ※ 救急法基礎講習教本を持参してください
- ※ 水泳道具一式（水着、キャップ、ゴーグル等）を持参してください。
- ※ トレーニングウェア等運動のできる服装で参加してください

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1名／日につき 8,000円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※原則として2日間で実施します。

詳しくはP4 講習開催経費 をご確認ください。

水上安全法 救助員養成講習Ⅱ

講習時間	14時間（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	水上安全法救助員Ⅰの資格を有する者
内 容	海、河川、および湖沼での事故防止 泳ぎの基本と自己保全 事故者の救助および応急手当
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字水上安全法救助員Ⅱ』の認定証を 交付します。

このような方へ適しています

- ★ 海、河川、および湖沼での事故防止、溺者への対応など、水辺での緊急事態に対応する方法を学びたい方。
- ★ 水上安全法救助員Ⅱの資格取得を目指している方
「水上安全法救助員」資格は、水の事故防止や溺者救助に必要な知識と技術を有していることを日本赤十字社が認定する資格です。
プールや海水浴場の監視員の採用条件とされる場合もある資格です。

受講費（受講者1名あたり） 300円

・教材費、保険料含む

- ※ 救急法基礎講習教本、水上安全法講習教本を持参してください
- ※ トレーニングウェア等運動のできる服装で参加してください
- ※ 水泳道具一式（水着、キャップ、水中メガネ、シュノーケル、フィン等）を持参してください。

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名／日 につき 8, 000円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※原則として2日間で実施します。

詳しくはP4 講習開催経費をご確認ください。

健康生活支援講習支援員養成講習

講習時間	10時間（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	満15歳以上の者
内 容	健康増進と高齢者に起こりやすい事故の予防・手当 地域での高齢者支援に役立つ基礎的知識・技術 日常生活の自立に向けた具体的な知識と技術
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字健康生活支援講習指導員』の認定証を交付します。

このような方へ適しています

- ★ 高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援、日常生活における介護方法を学びたい方。
- ★ 健康生活支援講習支援員の資格取得を目指している方
「健康生活支援講習支援員」資格は、健康生活支援講習を実践するための知識と技術を有していることを日本赤十字社が認定する資格です。

受講費（受講者1名あたり） 900円

・健康生活支援講習教本、保険料含む

※ 運動のできる服装で参加してください

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名／日 につき 8, 000 円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※原則として3日間で実施します。

詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

幼児安全法支援員養成講習

講習時間	10時間（検定時間、休憩時間含む）
受講資格	満15歳以上の者
内 容	子どもに起こりやすい事故の予防と手当 （心肺蘇生、AEDの使用方法、気道異物除去等含） 子どもの病気への対応
交付される証	全課程修了者に受講証 検定合格者には『赤十字幼児安全法指導員』の認定証を交付します。

このような方へ適しています

- ★ 子どもに起こりやすい事故の予防と手当および子どもの病気への対応方法を学びたい方。
- ★ 幼児安全法支援員の資格取得を目指している方
「幼児安全法支援員」資格は、幼児安全法支援講習を実践するための知識と技術を有していることを日本赤十字社が認定する資格です。

受講費（受講者1名あたり） 2,200円

- ・ 幼児安全法講習教本 ・ 呼吸吹込み用具 ・ 保険料含む
- ・ 乳幼児の一次救命処置教本

※ ハンカチ（大判）、ストッキング1足を持参してください

※ 運動のできる服装で参加してください

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名／日につき 8,000 円

受講者数、開催場所、開催時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※原則として3日間で実施します。

詳しくはP4 講習開催経費をご確認ください。

日本赤十字社島根県支部が 指導員を派遣する講習です

— 赤十字の講習を活用したい方へ —

<短期講習>

救急法 一次救命処置コース	P.15
救急法 応急手当コース	P.16
水上安全法	P.17
健康生活支援講習	P.18
幼児安全法	P.19
防災セミナー	P.20
防災スクール	P.22
国際人道法普及セミナー	P.23

救急法 一次救命処置コース



講習時間	1時間30分～2時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	年齢制限等、特にありません。
内 容	講習内容に心肺蘇生の実技を組み込んだものです。 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。

このような方へ適しています

- ★ 心肺蘇生の実技（AEDの使用方法含む）を短時間で練習したい方
- ★ 短時間で「きず」や急病の対処法とともに、心肺蘇生の練習もした方
- ★ 水の事故防止やプール監視の要点にあわせて、心肺蘇生の練習をしたい方

ご注意ください！

★ 本講習会は、規程カリキュラムの一部を適宜組み合わせて実施するものです。

資格の認定を希望される方は救急法救急員基礎・養成講習をご検討下さい。

配付教材と教材費（受講者1名あたり）

- ・小冊子「救急法の基礎知識」 1冊 53円

さらに、ご希望に応じて次の教材を追加することができます。

（実費分が教材費に追加されます）

- ・小冊子「知っていれば安心ですー心肺蘇生とAEDー」 1冊 53円
- ・小冊子「ルールを守ってたのしい水泳・水遊び」 1冊 53円

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5,000 円

受講者数、講習時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

救急法 応急手当コース



講習時間	1時間30分～2時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	年齢制限等、特にありません。
内 容	心肺蘇生の実技以外の内容で講習を組み立てます。 (講習の一部に指導員による心肺蘇生のデモンストレーションを を組み入れる場合も本コースになります。) 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。

このような方へ適しています

- ★ けがなどの止血帯を使用する、出血等への対処法を短時間で学びたい方
- ★ 急病やアナフィラキシーへの対処法等を短時間で学びたい方

ご注意ください！

- ★ 本講習会は、規程カリキュラムの一部を適宜組み合わせて実施するものです。

資格の認定を希望される方は救急法救急員基礎・養成講習をご検討下さい。

配付教材と教材費（受講者1名あたり）

- ・小冊子「救急法の基礎知識」 1冊 53円

さらに、ご希望に応じて次の教材を追加することができます。

(実費分が教材費に追加されます)

- ・小冊子「知っていれば安心ですー心肺蘇生とAEDー」 1冊 53円
- ・小冊子「ルールを守ってたのしい水泳・水遊び」 1冊 53円

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5, 000 円

受講者数、講習時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※ 開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

水上安全法



講習時間	1時間30分～2時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	年齢制限等、特にありません。
内 容	心肺蘇生の実技を組み込んだ講習も可能です。 水の事故防止やプール監視の要点 服を着たまま水に落ちた時の対処法 おぼれた人を助ける方法 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。

このような方へ適しています

- ★ 心肺蘇生、水の事故、溺者への対応など、水辺での緊急事態に対応する方法を学びたい方
- ★ 着衣による水泳や水の体感がしたい方
- ★ 水の事故防止やプール監視の要点等を短時間で学びたい方

ご注意ください！

- ★ 本講習会は、規程カリキュラムの一部を適宜組み合わせて実施するものです。
資格の認定を希望される方は救急法救急員基礎・養成講習をご検討下さい。

配付教材と教材費（受講者1名あたり）

- | | | |
|-------------------------|----|-----|
| ・小冊子「救急法の基礎知識」 | 1冊 | 53円 |
| ・小冊子「ルールを守ってたのしい水泳・水遊び」 | 1冊 | 53円 |

さらに、ご希望に応じて次の教材を追加することができます。

（実費分が教材費に追加されます）

- ・小冊子「知っていれば安心ですー心肺蘇生とAEDー」 1冊 53円

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5,000 円

受講者数、講習時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

健康生活支援講習



講習時間	1時間30分～2時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	年齢制限等、特にありません。
内 容	寝たきりにならないために。病気や事故の予防、健康管理 衣服の着脱や、食事・ベッドからの起き上がり介助 認知症のことや認知症の方への対応 災害時の避難所で役立つ知識と技術 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。

このような方へ適しています

- ★ 高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援、日常生活における介護方法を学びたい方。
災害が高齢者に及ぼす影響や接するときの心遣い等、緊急事態に対応する方法を学びたい方

ご注意ください！

- ★ 本講習会は、規程カリキュラムの一部を適宜組み合わせて実施するものです。
資格の認定を希望される方は、「健康生活支援講習支援員養成講習」の受講をご検討ください。

配付教材と教材費（受講者1名あたり）

- ・小冊子「災害が起こったときに」 1冊 53円
- ・小冊子「地域で支える認知症」 1冊 53円

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5, 000 円

受講者数、講習時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

幼児安全法



講習時間	1時間30分～2時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	年齢制限等、特にありません。
内 容	<p>子どもに起こりやすい事故の予防と手当 （心肺蘇生、AEDの使用方法、気道異物除去を組み込んだ講習も可能です）</p> <p>子どもの病気と看病の仕方 子育てにおける社会資源の活用 災害時の乳幼児支援 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。</p>

このような方へ適しています

- ★ 子どもに起こりやすい事故の予防と手当及びこどもの病気への対応方法を学びたい方。

ご注意ください！

- ★ 本講習会は、規程カリキュラムの一部を適宜組み合わせて実施するものです。
資格の認定を希望される方は、「幼児安全法支援員養成講習」の受講をご検討ください。

配付教材と教材費（受講者1名あたり）

- | | | |
|--------------------|----|-----|
| ・小冊子「子どもの看病 手当の仕方」 | 1冊 | 53円 |
| ・小冊子「災害が起こったときに」 | 1冊 | 53円 |

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5, 000 円

受講者数、講習時間等により異なります。

事前協議で講習の詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

防災セミナー



講習時間	1時間～ 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	町内会・自治会、事業所等の原則として一般成人の方を対象 申請団体のご要望に応じて受講対象は適宜設定します。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害への備え（地震／地震・津波／風水害） 2 災害エスノグラフィー 3 災害図上訓練（DIG）（地震／津波／大雨・土砂災害） 4 「応急手当」、「災害時高齢者生活支援」等から必要な 5 家具安全対策ゲーム おうちのキケン 6 ひなんじょたいけん <p>カリキュラムを選択・組み合わせる事が可能です。 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。</p>

赤十字防災セミナーの目的

- 1 日本赤十字社の紹介(10分)**
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。
- 2 災害への備え(約60分間)**
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3 災害エスノグラフィー(約120分間)**
大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4 災害図上訓練(DIG: Disaster Imagination Game)(約120分間)**
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 5 家具安全対策ゲーム(KAG)(約30分間)**
おうちのキケン(約45分間)
自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。
- 6 ひなんじょたいけん(約90分間)**
避難所を作るカードゲームを通じて、大地震における避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。

※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせて実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成

「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

日本赤十字社は、長年に渡る災害救護活動から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分からない災害からいのちを守るためには、ご自身とご家族を守る「自助」の力と、地域にお住まいの皆さんが協力して共に難局を乗り切る「共助」の力が極めて重要だと考えています。

赤十字のノウハウを活用し防災セミナーを通じて、皆さん一人ひとりが災害と向き合い、被害をより小さくするために必要な備えについて一緒に考え、話し合いましょう。

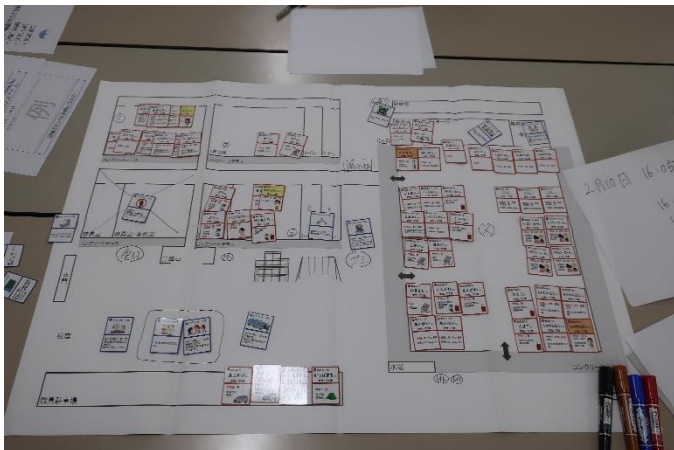
講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5, 000 円

セミナーの内容、講習時間、受講者数により異なります。

事前協議でセミナーの詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。



防災スクール



講習時間	申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の原則として 幼児、児童、生徒 を対象 申請団体のご要望に応じて受講対象は適宜設定します。
内 容	1 青少年赤十字防災教育プログラム ※1 2 災害エスノグラフィー ※2 3 災害図上訓練 ※3 (DIG) (地震／津波／大雨・土砂災害) 4 家具安全対策ゲーム おうちのキケン ※4 5 ひなんじょたいけん ※5 (高等学校限定) 6 応急手当、災害時高齢者生活支援等 から必要なカリキュラムを選択・組み合わせる事が可能です。 申請団体のご要望に応じて内容は適宜設定します。

※1 自然災害の正しい知識をもち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動を学習します。

※2～※5については P20 防災セミナー をご確認ください。

「気づき、考え、行動する」

青少年赤十字の防災教育プログラムです

日本赤十字社は、長年に渡る災害救護活動から得た教訓を踏まえ、青少年赤十字の特徴的な手法「気づき、考え、行動する」という、態度目標を用いた防災教育を行っています。児童・生徒が主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができること、そして、他者への思いやり、優しさやいのちの大切さを学びとる力を育むことができるプログラムです。

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5,000 円

プログラムの内容、講習時間、受講者数により異なります。

事前協議でプログラムの詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

国際人道法普及セミナー



講習時間	概ね1時間 申請団体のご要望に応じて時間は適宜設定します。
受講対象	中学校以上の学校、事業所、各種団体 申請団体のご要望に応じて受講対象は適宜設定します。
内 容	1 国際人道法 2 人道危機に対する赤十字の対応 この二つのカリキュラムを動画やパワーポイントを用いて行います。

・赤十字の使命として

赤十字の理念と国際人道法を通して、人道の理念－平和を愛する心、人の命の重さ－を伝えます。

・国際社会の一員として

紛争という非常時に国際人道法に沿った的確な行動がとれるよう、平和な時からの普及、学習を行います。

・平和と教育への貢献として

国際人道法の底流に流れる“人道的価値観”は時代、宗教、民族、国境を越えてすべての人々が共有できる普遍的な価値を有しています。紛争という極限の状況下でも脅かされてはならない人間の尊厳を考える素材として、国際人道法を学ぶことは一般教養や学校教育としても非常に有意義です。

講習開催経費（1講習あたり）

指導員派遣 1 名につき 5, 000 円

事前協議でプログラムの詳細が決定後、開催経費をお知らせします。

※開催経費の免除制度あり。詳しくは P4 講習開催経費 をご確認ください。

4. 申請手順のまとめ（概略）

講習会の申請から経費の支払いまでの概略は以下のとおりとなります。

- | | |
|--------------|---|
| ①講習会の企画・立案 | 支部にご相談のお電話をいただく前に
次のことを整理してください。 |
| | 開催する講習種別／開催を希望される期日（複数の
候補日をご準備ください）／会場／受講予定人数等 |
| ↓ | |
| ↓ | |
| ②支部への相談 | 上記①の整理後、事前協議として支部担当あて相談の
ご連絡をお願いいたします。
（講習会開催予定日の2ヶ月前まで） |
| ↓ | |
| ↓ | |
| ③講習開催の可否の連絡 | 上記②の事前協議により講習会開催（指導員派遣）の
可否を決定し、ご担当者あてに電話連絡をします
（事前協議から約1週間。ご相談の時期によっては
前後します）。 |
| ↓ | |
| ↓ | |
| ④申請書類の提出 | 速やかに、日本赤十字社島根県支部までEメール、郵
送またはFAXにて提出してください。
申請書は、島根県支部ホームページよりダウンロード
してください。 |
| ↓ | |
| ↓ | |
| ⑤派遣回答・詳細打合わせ | 講習開催日の概ね1～2週間前に、申請団体あてに
派遣回答の文書をお送りします。また、これに前後
して講習会の実施に向けた詳細な打ち合わせをさせ
ていただきます。 |
| ↓ | |
| ↓ | |
| ⑥名簿の事前提出 | 資格養成講習を開催される場合は、事前に受講者名
簿を提出してください。 |

↓
↓

⑦講習実施と確認書提出

講習会最終日（単日講習の場合は講習終了時点）に、派遣指導員が持参する『受講人数等確認書』を、双方立会いのもと作成いただき、速やかにFAXにより支部へお送りください。（FAXが使えない場合は写しを指導員へ渡してください）。この確認書をもとに最終的な経費を計算いたします。

↓
↓

⑧請求書の発行・振込

支部から申請団体あてに請求書と振込用紙をお送りしますので、請求額をお振込ください。

↓
↓

⑨認定証等の送付

資格養成講習など、認定証が交付される講習につきましては、講習経費ご入金後に申請団体あてにまとめてお送りします。

以上、ご質問などがありましたら下記までお気軽にご相談ください

日本赤十字社島根県支部 事業推進課

〒690-0873 島根県松江市内中原町40

☎ 0852-21-4237（8時30分～17時 土・日・祝日除く）

fax 0852-31-2411

✉ shinsei@shimane.jrc.or.jp

2018年3月 発行

2020年4月 改訂

2021年4月 改訂

2023年4月 改訂

2024年4月 改訂

2025年4月 改訂